

2013 年 2 月

乳たんぱく質ラクトフェリンの機能と応用 JIDF 光岡賞を受賞

このたび、2 月 26 日に開催されました国際酪農連盟日本国内委員会（JIDF）の平成 24 年度国際会議出席報告会にて、当社社員が「乳たんぱく質ラクトフェリンの機能と応用」で平成 24 年度 JIDF 光岡賞を受賞しました。

1. 受賞者

食品基盤研究所素材機能研究部 山内恒治

2. JIDF 光岡賞とは

光岡知足博士（東京大学名誉教授、理化学研究所名誉研究員）が国際酪農連盟（IDF）より 2007 年メチニコフ賞※を受賞の際、同博士の意思により、国際酪農連盟日本国内委員会（JIDF）に対して寄付された賞金を基に設けられた賞。

※メチニコフ賞…発酵乳に関して、最も優れた研究業績を挙げた科学者に授与される世界最高峰の国際賞で、微生物学部門、バイオテクノロジー部門、栄養と健康部門の 3 部門に分けられ、光岡博士は微生物学部門での受賞。

3. 受賞業績内容

栄養・健康専門部会等での JIDF における貢献活動と、以下のラクトフェリンに関する研究を通して「乳」の価値を高めたことが評価され、受賞となりました。

- 1) 当社が 1986 年に世界で初めてラクトフェリン配合育児用ミルク「BF-L」を販売するにあたっての抗菌活性に関する基礎研究とラクトフェリンが胃内消化酵素で分解されると高い抗菌活性を持つペプチド・ラクトフェリシン[®]が産生される新知見
- 2) 成人におけるラクトフェリンの経口摂取により歯周病や足白癬、風邪症状の改善効果を示した臨床研究
- 3) 感染原因菌に対する作用や宿主の免疫機能活性化等の作用機序に関する研究
- 4) ウシラクトフェリンの食品としての安全性確認、食品中のラクトフェリンの迅速性・簡便性に優れた測定方法の確立、乳の機能性素材としてヨーグルト、乳飲料、サプリメントなどの商品への応用研究

以上

参考情報

【ラクトフェリンとは】

ラクトフェリンは、人などの哺乳類の乳汁や唾液などに含まれるたんぱく質で、抗菌・抗ウイルス活性や免疫調節作用など、さまざまな生理機能を示すことが知られています。中でも母乳、特に初乳に多く含まれており、抵抗力の弱い赤ちゃんを病原菌やウイルスなどの感染から守る重要な成分として考えられています。近年では、ノロウイルスなどによる胃腸炎に対する感染防御効果も知られています。

【森永乳業のラクトフェリンへの取り組み】

森永乳業は、育児用ミルク開発のためにラクトフェリンの研究を開始し、1963 年に研究報告を初めて行いました。1986 年には世界で初めて育児用ミルクにラクトフェリンを配合し、その後もヨーグルトや機能性ミルク、サプリメント等に応用してきました。また、2003 年には「ラクトフェリンの工業的な製造法の開発」で文部科学大臣賞を受賞しています。